

会務報告

おしらせ

第19回日本作業行動研究会 研究大会ならびに総会が終了

第19回日本作業行動研究会大会は、平成21年9月19日(土)～20日(日)に、兵庫医療大学リハビリテーション学部(〒650-8530 神戸市中央区港島1-3-6)で、伊藤斉子先生(兵庫医療大学リハビリテーション学部)を大会長として、「地域作業療法を支える知」というテーマで開催されました。

大会は、大阪大学総長の鷺田清一先生による特別講演Ⅰ「『できる』ということ」ではじまり、一般演題が続き、総会、懇親会と1日目が終了しました。2日目は、公開事例検討会から始まり、一般演題と続き、首都大学東京健康福祉学部作業療法学科長・教授の山田孝先生の特別講演Ⅱ「65歳大学: 予防的作業療法の取組み」と続き、一般演題で閉幕を迎えました。参加者は、会員85名、非会員48名、学生10名、合計143名でした。大会長の兵庫医療大学リハビリテーション学部伊藤斉子先生、実行委員長の有吉正則先生をはじめ、関係諸氏に厚く御礼申し上げます。

第20回日本作業行動学会学術集会

2010年度の研究会は、名称を改めて、第20回日本作業行動学会学術集会として、以下の要領で開催します。

場所: 鹿児島大学医学部鶴陵会館
(〒890-0075 鹿児島市桜ヶ丘8-31-1)

日時: 平成22年9月4日(土)～5日(日)

大会長: 岩瀬義昭先生
(鹿児島大学医学部保健学科教授)

プログラムは、現在、構築中です。

MOHO 発表30周年記念研究会 in Chicago

人間作業モデル(MOHO)は最初に1980年の9

月から12月に、American Journal of Occupational Therapy に発表されました。その内容は本誌で翻訳されており、本号で最終回になります。来年はMOHOが発表されてから30年を迎えるのを記念して、2010年1月13日に講演会が、14日と15日には国際学会(研究会)が、イリノイ大学シカゴ校で開催されることになりました。

1月13日には、精神科領域の講演会で、「精神健康ケアにおける作業療法の役割を強化するための戦略～イギリスから学ぶもの」と題して、イギリスの精神科作業療法を強化するためのビジョンと計画(Forsyth)、政策の流れ(Melton)、例Morleyが提示される予定である。

1月14日と15日の国際学会(研究会)は「理論で考えること: 実践を改善することの意味」と「作業中心とクライアント中心の実践の展開」というテーマで、初めての国際研究会が開催される。初日は「特権とともににもたらされる責任を果たすこと」(Forsyth)、「実践家に用いられる理論のレベル」(Melton)、「知識の選択と理論の利用」(Lee)、「小児作業療法でのMOHOの適用に対する作業療法のリーズニング」(O'Brien)、「MOHOSTに基づく精神科のケアの開発に関する経験的アプローチ」(Morley, Kielhofner, Taylor)などが話題提供される。2日目は「痴呆の高齢者の日々の作業における意志の現象学的研究」(Raber)、「多発性硬化症者の自己効力感の低下」(Peterson)、「臓器移植のレシピエントの習慣化の理解に対する役割チェックリストの使用」(Scott)、「児童版作業に関する自己評価(COSA)の社会的妥当性を確認するための複合的方法の使用」(Kramer)、短縮版児童用作業プロフィール(SCOPE)の臨床的利用を決定するための複合的方法を用いた研究と実践の結びつきを発展する評価」(Bowyer, Lee)、「小学3年生と4年生の健康な身体的活動と栄養を促進する意志に標的を当てること」(O'Brien, Taylor)などの臨床的な話題が提供される。

首都大学東京健康福祉学部の山田孝教授および首都大学東京の5名の大学院生が参加する予定です。

なお、この国際学会(研究会)は来年度も開催さ

れる予定になっています。しかし、日程に大学入試センター試験が実施される週末が含まれているため、日本からの参加は支障があるので、善処してくれるように申し出ました。来年は1週間、時間を移動してくれるようです。皆さん、来年はシカゴに行きましょう。

人間作業モデル講習会の開催

以下のように、人間作業モデル講習会を開催します。参加希望の方はホームページから研究会事務局に申し込んで下さい。参加費は会員9000円、非会員11000円です。なお、これまでに受講されたことのある方はリピーター割引として3,000円引きで受講することができます。

また、人間作業モデル講習会を自分の地域で開催してほしいと希望する方は、研究会事務局までお知らせ下さい。事務局ではお申し出のあった方と関係者と協議して、講習会の開催を前向きに検討したいと思います。事務局のeメール・アドレスはobjim@jsrob.orgです。

<中部・浜松>

12月5日(土)～6日(日)に、浜松市リハビリテーション病院(浜松市中区和合町327-1)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と野藤弘幸先生(浜松大学保健医療学部)の予定です。

<四国・高知>

1月23日(土)～24日(日)に、高知大学医学部付属病院講義室(南陽市豊岡町小蓮)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と石井良和先生(秋田大学医学部保健学科)の予定です。

<九州・沖縄>

2月20日(土)～21日(日)に、那覇市内(場所未定)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と石井良和先生(秋田大学医学部保健学科)の予定です。

<関東・神奈川>

3月27日(土)～28日(日)に、神奈川県内(場所未定)で開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)と笹田哲先生(神奈川県立大学リハビリテーション学科)の予定です。

人間作業モデル事例検討会の開催

12月13日(日)に、**九州第12回**を、麻生リハビリテーション専門学校(福岡市博多区東比恵3-2-1)で、10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は青山克美、近藤昭彦両先生(麻生リハビリテーション専門学校)です。参加費は1,500円です。

12月20日(日)に、**近畿第18回**を、宇治病院会議室(宇治市五ヶ庄芝ノ東54-2)で、13時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価法(未定)の実施法についての講義があります。世話人は南征吾先生(関西学研医療福祉学院)です。参加費は3,000円(学生1,000円)です。

1月10日(日)に、**東京東部**地区第41回を、首都大学東京健康福祉学部(荒川区東尾久7-2-10)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は小林法一先生(首都大学東京健康福祉学部)です。参加費は1,500円(学生1,000円)です。

1月17日(日)に、**浜松**第7回を予定していましたが、講師の山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)がアメリカシカゴで開催されるMOHO30周年記念のセミナーに出席するために、**中止**になりました。

2月6日(日)に、**神奈川**第19回を予定していましたが、講師の山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)の都合で、**中止**になりました。

2月11日(木・祝)に、**東京西部**地区第42回を、専門学校社会医学技術学院(小金井市中町2-22-32)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)です。世話人は鈴木憲雄先生(専門学校社会医学技術学院)です。参加費は1,000円です。なお、午前10時から12時に評価法の講義があり、参加費は1,000円です。

2月14日(日)に、**九州**第13回を、麻生リハビリテーション専門学校(福岡市博多区東比恵3-2-1)で、10時から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は青山克美、近藤昭彦両先生(麻生リハビリテーション専門学校)です。参加費は1,500円です。

Dec. 2009

3月14日(日)に、**東京東部**地区第43回を、首都大学東京健康福祉学部(荒川区東尾久 7-2-10)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は小林法一先生(首都大学東京健康福祉学部)です。参加費は1,500円(学生1,000円)です。

3月21日(日)に、**浜松**第7回を、首都大学東京健康福祉学部(荒川区東尾久 7-2-10)で、13時30分から17時まで開催します。講師は山田孝先生(首都大学東京健康福祉学部)で、評価の実施法に関する講義があります。世話人は野藤弘幸先生(浜

松大学保健医療学部)です。参加費は3,000円(学生1,500円)です。

このほかに、北海道作業行動研究会でも、**MOHO**事例検討会を行っています。世話人・講師は村田和香先生(北海道大学医学部)です。参加費は500円ですが、研究会に入会する必要があります。入会金は1,000円です。日程は以下のホームページをご覧ください。

研究会のホームページで研修会情報をご覧ください。詳細な情報を得て、ご参加下さい。